

## 平成27年度

### 第1回 長岡市図書館協議会

日 時 平成27年6月10日(水) 午前10時00分～午前11時30分  
会 場 中央図書館2階 講座室1

会議出席者 委員：渡邊委員長 淵本副委員長 恩田委員 小林委員  
谷委員 内藤委員 松本委員 湯本委員  
(吉原委員、渡辺委員欠席)

事務局：金垣館長 内山館長補佐 金山庶務係長 松矢奉仕係長  
田中文書資料室長 指定管理者田原統括責任者 同高橋  
総括チーフ、同渡辺チーフ

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 新委員、職員の紹介
- 4 議事

#### (1) 報告事項

- ① 平成26年度の実績報告について
  - ・平成26年度長岡市図書館活動評価の基本評価
  - ・平成26年度長岡市図書館活動評価の重点事項評価
- ② 図書館情報システムの更新事業の実施報告
- ③ 平成27年度の重点施策について

#### (2) 協議事項

- ① 平成27年度長岡市図書館活動評価(案)について

- 5 閉会

- 6 会議録要旨

(1) 報告事項 ①平成26年度の実績報告について
---------------------------

○数字はいろんな動きの中で出てしまうものであり、一喜一憂しても仕方ないと基本的には思っている。地道に、市民なり地域のニーズをいかにくみ取っていけるか、いろいろなやり方を工夫して継続していくことが大事である。  
⇒市民ニーズを聞くということに関しては、クレームを含めてしっかり受け止めていきたい。

○地方創生を進めるに当たって図書館の役割は重要だと思っている。市が施策を組むに当たって、図書館がひとつのデータソースという機能を持って、ひとつの大きなよりどころとなってほしいと強く思っている。したがって、新年度もいろいろな活動があろうかと思うが期待している。

○学校、大学の図書館・図書室との連携がこれまで以上に必要になるのではないか。それぞれ強みもあれば弱点もあるわけで、そこをどう有効展開していくことができるかどうかということは、立ち入って進めていっても良いと思っている。中央図書館と地域図書館との連携も、合併10年をきっかけにより深め、そして広げていくということが求められるのではないかと思う。

⇒大学その他の図書館との連携については、今年から担当者レベルの懇談会を開き、情報交換から入っていきたいと考えている。中央図書館と地域図書館との連携についても重要なこととしてとらえているので、引き続き取り組みを継続したいと考えている。

#### (1) 報告事項 ②図書館情報システムの更新事業の実績報告

○新しいシステムのトラブルが解決するのはいつころか？

⇒7月中には完了させたいと考えている。

○システムトラブルに対するクレームのあった人たちには、ある程度対応ができていていると考えてよいか？

⇒対処方法について、電話でお問い合わせいただいた方には直接伝え、そうでない方にはHPに掲載し、周知している。

#### (1) 報告事項 ③平成27年度の重点施策について

○リレー講演会「災害史に学ぶ」は大変素晴らしい事業であった。記録誌も高く評価できる。是非、販売していただきたい。

○「郷土長岡をつくった人びと展」の人選の考え方について伺いたい。

⇒図書館・文書資料室・美術館が持っている人物資料を中心とした人物展である。チラシの下段にある中林太左衛門や星野辰蔵は、川口地域の人物であり、中央図書館や文書資料室では川口の資料をほとんど所蔵していないので、若干、借りてくるものもある。その他は、あくまで図書館の持っている資料で人物を選んでいるので、取り上げていない人物も多いと思われるかもしれないが、御理解いただきたい。

○資料がなければ説明ができないので、資料のある人を選んだということは、それでよいと思う。期待している。

協議事項 ①平成 27 年度長岡市立図書館の活動評価（案）について

○「地方創生」というのは非常に単純な言い方をすると、長岡で今育っている若者が、外に行かないように、ここで職を得て、この人間として活躍して長岡を活性化してくれるようにしむけるのが地方創生の肝である。

その点でいうと、最初に「課題解決に向けたサービスの充実、レファレンスの充実、行政支援」等々の記載があるが、大学生が就職活動をするときに極めて重要なのは、業界の研究とか希望する会社の研究であるのに、彼ら学生がやるのはネットで調べるだけである。

そこで、地元の産業とか地元の業界はこんなに魅力があるとか、こんな成長会社があるとかいう情報が、長岡の図書館だったら充実していると発信できれば I ターンとか U ターンとかの確度が高まるのではないかという気がする。

地方創生、向こう 10 年の話なので、すぐにというわけではないが研究していただければありがたい。

○長岡造形大は今、新入生のうち県外学生の割合が 8 割になった。公立大学になる前は、入学生のうち県内が 8 割、県外が 2 割だったが逆転した。彼らがアパート暮らしをするときに、大概、住民票を移していない。住民票がない長岡市在住の学生は、長岡の図書館利用・貸出は可能か。

⇒住民票がなくても長岡市に住んでいれば可能である。自宅あてに届いた郵便物かガスや公共料金のレシートをお持ちいただければ貸出カードを発行する。

○たぶん、そのことを学生も教員もあまり認識していないと思う。特に他県から来た学生には、長岡の図書館なんて使えないんじゃないのとか、閲覧はできても貸出はちょっとと思ったりだとか、心のバリアがある。

毎年、600 人から 700 人の新入生が県外から入ってくるので、その子たち向けの何か情報提供というのは、地方創生につながるのではないかと思うので、4 月に学生向けの PR をできないか。

⇒利用案内を配布するなど、PR 方法を検討したい。

○展覧会では、来館者を他の市内資料館等につなげる工夫を考えてほしい。

⇒チラシや HP など PR していきたい。また、地域に出かけるきっかけとなるよう、各資料館のパンフレットを集めたコーナーを設置したい。

○戦後 70 年。こういう機会だからこそ科学的に冷静に、取り上げる本を吟味してほしい。

○行政支援の強化と合併 10 周年記念イベントに関連して、現在、支所の職員はいろいろな地域の出身者が勤務するようになり、意外と地域事情や気質などを知らない。職員からまず勉強してほしいと願うので、イベント PR は、まず、支所職員に見てもらえるよう考えてほしい。

○子どもの読書活動推進計画関連事業については是非継続をお願いしたい。

- 子どもが本を読まないのは親のせいという考えははずしていただき、親が本を読まなくても本を読む子もいる、そういう考えで活動を広げてほしい。
- 子育てをきっかけに図書館を使うようになったが、子どもを連れて図書館のカードを発行する手続きがすごく大変だった思いがある。子どもがいなければ住所と名前を書いてというのがゆっくりできるが、子どもを連れていって住所を書いて身分証明書を出してという作業すらもうまくいかないのが実情である。そこで子育てされている人が図書館を利用するときの対応について、皆さんの子育て経験などを活かして対応していただけると借りる方の人数も増えてくるのではないかと思う。  
たしか、生後6カ月ほどのブックスタートで本の提供をする機会があると思うが、その時に貸出カードを作るとか、あるいは、各子育て支援センターなどで、インターネットで本が借りられるんだよという情報を伝えるだけでも図書館というところがあるんだなと気づけるきっかけにはなると思うので、そういった情報発信などもしていただければと主婦の立場で思っている。  
⇒ブックスタートにおける貸出カードの作成は現在も行っているが、図書館情報を含めて今後もPRしていきたい。
- バッグを持ってこなかった人のために貸出用のエコバッグが置いてあるのがすごく良いと思った。これは、中央図書館だけか？  
⇒昨年、利用者の方に寄付を募って集まったものを提供しており、中央図書館だけである。
- 郵便物や公共料金の領収証を持参するのが面倒だと思う学生もいると思うので、学生証を提示すると貸出カードを発行するようにしたらどうか。
- 子育て支援の「ぐんぐん」とか「てくてく」とかで、いろいろなイベントがあるときに、そのイベントに関連した図書館にある本を紹介してもらったりすれば利用者も増えるのではないかなと思う。
- そのイベントで本を紹介して、それに関連する市民団体があつたらそれを紹介してもらえるとすごくありがたい。
- 3月、4月に開催された「大人のとしょリンピック」というイベントがあり私も夢中になって参加し、40日くらいで50冊を借りて表彰状と記念品を貰った。その後のケア、何人参加して何人が達成したなどの情報があればなおよかった。子どもでなく大人のとしょリンピックというところが面白い。また、やってほしい。  
⇒18名の方に参加いただいた。「図書館の窓から」149号で報告と参加者おすすめ本の紹介を掲載する。
- 大学生だけでなく若い勤労者や子育て中のお母さんたちが使いやすい図書館になるよう、できれば工夫してほしい。
- 私たちの仲間の中で、HPにアクセスしにくいという声がある。また、本を借りるのと、本をリクエストして買ってもらうのと言葉がちょっと足りなく

て、本来は本を借りたかったのに、リクエスト本になってしまったとか、なにか新しいシステムになってから困っているという声を聞いたが、先ほど7月中には直ると聞いたので伝えておく。

- 子育て支援施設で「てくてく」「ぐんぐん」と「まちなか絵本館」があり、「てくてく」はずいぶん利用されているが「まちなか絵本館」が駐車料金がかかるということで利用者が少なくなっている。いい本がたくさんあるのに残念。図書館とは別の貸出カードが必要であるが、返却が今度は図書館でも可能になったことは進歩だと思う。駐車料金も30分無料でその後1時間ごとに100円と安くなったことは進歩だと思うが、できれば無料にしてもらえるとありがたい。
- 新しい互尊文庫を作る計画があるなら階段が大変なので1階につくってほしいという声がある。
- 地域館ごとに特色があつてとてもよいと思った。

⇒・いただいたご意見については、事務局の方で考慮させていただき、実際には平成26年度と同じような書式で項目を精査して、2月の時点で中身を1次評価をしていただくことになる。

- ・地方創生については、今、市役所内部で、これからどういうものをやるのかアイデア出しをしている段階である。本日の御意見を踏まえて検討したい。
- ・戦後70年については、戦災資料館があることもあり、中央図書館としては正面から戦争をとらえた展示ではなく、いわゆる戦後の復興史の展示としたいと考えている。本のコーナーやブックトークの内容については、戦争には、いろいろな見方があり、図書館としては、一つの主張ではなく、様々な考えの本を広く本をそろえて提供するというスタンスである。資料については偏らないということが大切であると考えている。
- ・まちなか絵本館については、担当課にご意見を伝えたい。